

## 安全データシート

改訂日：2022年8月30日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

ニリン酸ナトリウム十水和物  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
CB2054

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類  
健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分4  
皮膚腐食性/刺激性: 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 区分2A  
特定標的臓器毒性: 区分3(気道刺激性)  
(単回ばく露)

絵表示又はシンボル



危険喚起語  
危険有害性情報

警告  
飲込むと有害  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)  
【安全対策】  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
【応急処置】  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合  
は医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着  
用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼  
の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。  
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡するこ  
と。  
【保管】  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。  
【廃棄】  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に  
業務委託すること。

注意書き

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別  
化学名又は一般名  
別名

化学物質  
ニリン酸ナトリウム十水和物  
ピロリン酸ナトリウム十水和物、オキシビススルホン酸四ナトリウム十水  
和物  
 $\text{Na}_4\text{P}_2\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$   
CAS RN: 13472-36-1  
98%以上  
(1)-497  
HSコード: 2835.39

化学式  
化学物質を特定できる一般的な番号  
濃度又は濃度範囲(含有率)  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)  
その他

## 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ  
ること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受け  
ること。

眼に入った場合

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。  
水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用してい  
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
口をすすぎ、直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

眼・皮膚の刺激、発赤、痛み、灼熱感、咳、吐き気、嘔吐、下痢  
救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も  
応急処置をするものの保護

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

本物質は不燃性。周辺火災に対応した消火剤を用いる。(粉末消火剤、  
二酸化炭素、泡消火剤、噴霧水)

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

棒状放水  
火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生するお  
それがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火を行う者の保護

|                       |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------|-----|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6. 漏出時の措置             |     |  |  |  | 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんの吸入を避ける。<br>適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。<br>関係者以外の立入りを禁止する。<br>風上に留まる。<br>環境中に放出してはならない。<br>河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。<br>漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。<br>危険でなければ漏れを止める。<br>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 環境に対する注意事項            |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7. 取扱い及び保管上の注意        |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 取扱い                   |     |  |  |  | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。<br>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。<br>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br>接触、吸入又は飲み込んでではない。<br>眼、皮膚との接触を避けること。<br>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。<br>粉じん、ヒュームを吸入しないこと。                                                                |
| 技術的対策                 |     |  |  |  | 酸化剤                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 局所排気・全体換気             |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 安全取扱い注意事項             |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 接触回避                  |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 保管                    |     |  |  |  | 保管場所には貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。<br>換気のよい冷所に直射日光を避けて保管する。<br>酸化剤から離して保管する。<br>施錠して保管すること。<br>ポリプロピレン                                                                                                                                                  |
| 安全な保管条件               |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 安全な容器包装材料             |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 8. 暴露防止及び保護措置         |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 許容濃度(出典)              |     |  |  |  | 未設定                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 管理濃度                  |     |  |  |  | 未設定                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 日本産衛学会                |     |  |  |  | 未設定                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ACGIH                 |     |  |  |  | この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。<br>作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。                                                                                                                                                                                           |
| 設備対策                  |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 保護具                   |     |  |  |  | 換気が不十分な場合は、適切な呼吸器保護具を着用すること。<br>適切な保護手袋を着用すること。<br>保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。<br>適切な顔面用の保護具、衣類及び防護靴等を着用すること。                                                                                                                                        |
| 呼吸用保護具                |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 手の保護具                 |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 目の保護具                 |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 皮膚及び身体の保護具            |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9. 物理的及び化学的性質         |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 物理状態                  |     |  |  |  | 結晶                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 色                     |     |  |  |  | 白色                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 臭い                    |     |  |  |  | 無臭                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 融点/凝固点                |     |  |  |  | 988℃                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲         |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 燃焼性                   |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界     |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 引火点                   |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 自然発火温度                |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 分解温度                  |     |  |  |  | 約100℃で無水物となる。                                                                                                                                                                                                                                                |
| pH                    |     |  |  |  | 9～11(1%)                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 動粘性率(粘度)              |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 溶解度                   |     |  |  |  | 水に可溶、エタノールにはほとんど不溶。                                                                                                                                                                                                                                          |
| n-オクタノール/水分分配係数       |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 蒸気圧                   |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 密度及び/又は相対密度           |     |  |  |  | 1.82                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 相対ガス密度                |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 蒸発速度                  |     |  |  |  | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10. 安定性及び反応性          |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 安定性、化学的安定性            |     |  |  |  | やや潮解性があり、加熱すれば100℃で無水物となる。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 危険有害反応可能性             |     |  |  |  | 水溶液は弱塩基であり酸と反応する。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 避けるべき条件               |     |  |  |  | 直射日光、高温、多湿、混色危険物質との接触                                                                                                                                                                                                                                        |
| 混色危険物質                |     |  |  |  | 酸化剤                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 危険有害な分解生成物            |     |  |  |  | 燃焼によりリン酸化物が発生する。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 11. 有害性情報             |     |  |  |  | (無水物の情報)                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 急性毒性                  | 経口： |  |  |  | ラットのLD50=1000～3000mg/kg(ACGIH(2001))の下限值<br>LD50=1000mg/kgに基づき、区分4とした。<br>ヒトでmildからmoderateの皮膚刺激反応が見られたとの記載(ACGIH(7th, 2001))に基づき、区分2とした。                                                                                                                    |
| 皮膚腐食性・刺激性             |     |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性        |     |  |  |  | ウサギでsevereの眼刺激性があり角膜に障害をもたらすとの記載(ACGIH(7th, 2001), HSDB(2003))、ヒトでmildからmoderateな刺激が認められる(ACGIH(7th, 2001), HSDB(2003))との記載、および重度の刺激性と化学的火傷のもととなる危険性があるとの記載(HSFS(2001))に基づき、区分2Aとした。                                                                         |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性         |     |  |  |  | 該当情報なし。(分類できない)                                                                                                                                                                                                                                              |
| 生殖細胞変異原性              |     |  |  |  | 該当情報なし。(分類できない)                                                                                                                                                                                                                                              |
| 発がん性                  |     |  |  |  | 該当情報なし。(分類できない)                                                                                                                                                                                                                                              |

|                                                                        |                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生殖毒性<br>特定標的臓器・全身毒性-単回暴露                                               | 該当情報なし。(分類できない)<br>ヒトで咳および鼻と咽頭の刺激がみられる(ICSC(J)(1997)、HSFS(2001))ことに基づき、区分3(気道刺激性)とした。                                                                       |
| 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露<br>誤えん有害性                                             | 該当情報なし。(分類できない)<br>該当情報なし。(分類できない)                                                                                                                          |
| 12. 環境影響情報<br>生態毒性                                                     | 短期:<br>(急性) 甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=391000 $\mu$ g/L(AQUIRE、2003)から、区分外とした。<br>長期:<br>(慢性) 難水溶性でなく(水溶解度=81400mg/L(PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。 |
| 残留性／分解性<br>生体蓄積性<br>土壌中の移動性<br>オゾン層への有害性                               | 該当情報なし。<br>該当情報なし。<br>該当情報なし。<br>当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。                                                                                              |
| 13. 廃棄上の注意<br>化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報                | 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。                                                                                                                                       |
| 14. 輸送上の注意<br>国連番号<br>品名(国連輸送名)<br>国連分類<br>容器等級<br>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | 該当しない。<br>該当しない。<br>該当しない。<br>該当しない。<br>運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。                                                              |
| 国内規制がある場合の規制情報<br>陸上輸送<br>海上輸送<br>航空輸送<br>応急措置指針番号                     | 消防法の規定に従う。<br>船舶安全法の規定に従う。<br>航空法の規定に従う。<br>該当しない。                                                                                                          |
| 15. 適用法令<br>化学物質管理促進法(PRTR法)<br>毒物及び劇物取締法<br>労働安全衛生法                   | 指定化学物質に該当しない。<br>毒物及び劇物に該当しない。<br>名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[オキシビススルホン酸4ナトリウム]                                                  |
| 消防法                                                                    | 危険性又は有害性を調査すべき物[オキシビススルホン酸4ナトリウム]<br>危険物に該当しない。                                                                                                             |
| 16. その他の情報<br>参考文献                                                     | 16615の化学商品(化学工業日報社)<br>NITE-CHIRP(製品評価技術基盤機構HP)<br>国際化学物質安全性カード(ICSC)<br>職場の安全サイト(厚労省HP)<br>GHSの挑戦(化学工業日報社)                                                 |

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。